

11 全会計の資金収支計算書

普通会計に加えて、競輪事業、国民健康保険事業等の普通会計外の特別会計や企業会計を連結した市全体の資金収支計算書は、次のとおりです。

(1) 経常的収支の部 (詳細については、41頁参照)

経常的収支額	1,072億円	支出合計	6,320億円
		収入合計	7,392億円

この区分には、本市において経常的に行われる行政活動に係る資金収支を計上しています。

この収支区分は、財政指標の一つである「経常収支比率」とほぼ同様の考え方になっており、この黒字額が小さい場合には財政構造が硬直化しているため、行政活動支出の削減に努めることが必要となります。

平成22年度の経常的収支に係る支出合計は6,320億円、収入合計は7,392億円で、収支額が1,072億円となっています。

(2) 公共資産整備収支の部 (詳細については、41頁参照)

公共資産整備収支額 △	321億円	支出合計	1,159億円
		収入合計	838億円

この区分には、道路、公園等の都市基盤や学校・福祉施設等といった公共資産の整備に係る資金収支を計上しています。

平成22年度の公共資産整備に係る支出合計は1,159億円、収入合計は838億円で、収支額が△321億円となっており、収支不足額については市税収入を計上している経常的収支の部の黒字額により賄われています。

(3) 投資・財務的収支の部 (詳細については、41頁参照)

投資・財務的収支額 △	796億円	支出合計	1,807億円
		収入合計	1,011億円

この区分には、地方債の償還や貸付金、基金の運用等の財務活動に係る資金収支を計上しています。

平成22年度は、財務活動に係る支出合計は1,807億円、収入合計は1,011億円で、収支額が△796億円となっています。

(4) 平成22年度末資金残高 (詳細については、41頁参照)

当年度資金増減額	△	45億円
期首資金残高		464億円
期末資金残高		419億円

以上の各区分における収支差額の合計は45億円の赤字となっており、平成22年度の期末資金残高は前年度末の464億円から419億円に減少しました。

川崎市資金収支計算書(全会計)

〔自平成22年4月1日
至平成21年3月31日〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	131,815,713
物件費	119,541,424
社会保障給付	273,690,820
補助金等	58,085,190
支払利息	30,044,936
他会計への事務費等財源充当繰出支出	5,987,654
その他支出	12,862,619
支出合計	632,028,356
地方税	281,990,525
地方交付税	649,857
国県補助金等	145,415,396
使用料・手数料	14,493,480
分担金・負担金・寄附金	62,071,739
保険料	52,964,794
事業収入	110,940,538
諸収入	12,906,255
地方債発行額	27,741,327
長期借入金借入額	0
短期借入金増加額	0
基金取崩額	2,566,440
その他収入	27,489,617
収入合計	739,229,968
経常的収支額	107,201,612

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	104,561,949
公共資産整備補助金等支出	11,288,945
支出合計	115,850,894
国県補助金等	23,884,146
地方債発行額	52,619,423
長期借入金借入額	0
基金取崩額	5,420,758
その他収入	1,828,773
収入合計	83,753,100
公共資産整備収支額	△ 32,097,794

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	555,000
貸付金	56,890,803
基金積立額	4,686,831
定額運用基金への繰出支出	402,784
地方債償還額	118,162,301
長期借入金返済額	0
短期借入金減少額	0
収益事業純支出	0
その他支出	0
支出合計	180,697,719
国県補助金等	0
貸付金回収額	46,368,414
基金取崩額	114,352
地方債発行額	35,205,947
長期借入金借入額	0
公共資産等売却収入	10,416,149
収益事業純収入	0
その他収入	8,977,485
収入合計	101,082,347
投資・財務的収支額	△ 79,615,372

翌年度繰上充用金増減額	
当年度資金増減額	△ 4,511,554
期首資金残高	46,393,095
期末資金残高	41,881,541